

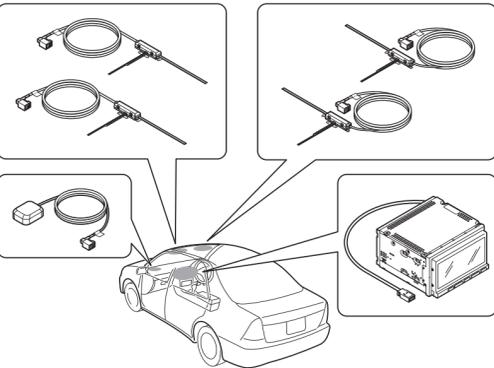
AVN-LS04 / AVN-LS04W

取付説明書

お客様へのお願い

- 取り付けおよび接続をおこなう前に、必ず本書をよくお読みのうえ、正しく作業をおこなってください。
 - 指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる恐れがあります。
 - 安全運転のため、ご使用前に「取扱説明書」「取付説明書(本書)」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
 - 「取扱説明書」「取付説明書(本書)」に記載されている内容を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
 - 「取扱説明書」「取付説明書(本書)」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
 - 本機は日本国内専用モデルです。日本国外で使用することはできません。
 - 仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合があります。あらかじめご了承ください。
- 一販売店様へ
取り付け、接続作業が完了しましたら、本書をお客様へお返しください。

取付概要図



構成部品

作業前に構成部品が揃っているか、汚れや傷がないか確認してください。

● 本体関係

① メインユニット AVN-LS04 ×1	② 電源コード AVN-LS04W ×1	③ 電源コード ×1
④ 中継コード ×1	⑤ 車両信号コード ×1	⑥ AUXコード ×1
⑦ バックカメラコード ×1	⑧ ハンズフリーマイク ×1	⑨ 地図専用microSDカード ×1
⑩ B-CASカード ×1	⑪ 取り付けねじ (M5×6) ×8	⑫ ショートコネクタ ×6

● アンテナ関係

⑬ フィルムアンテナ (左側用) ×2	⑭ フィルムアンテナ (右側用) ×2	⑮ GPSアンテナ ×1
⑯ クランパー ×4	⑰ クランパー ×4	

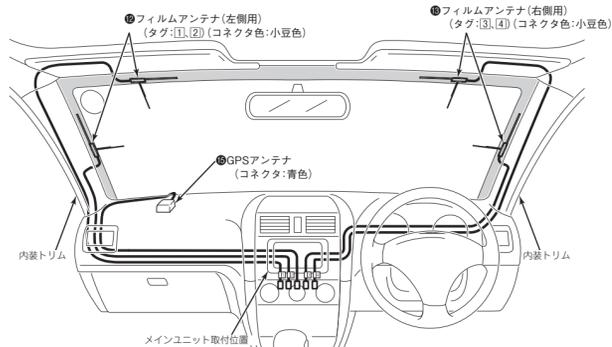
地図専用microSDカードは、メインユニットにあらかじめ挿入されています。
その他の構成部品(取扱説明書、取付説明書、保証書等の資料類)

作業の進め方

- 1) 構成部品を確認する (☞ 構成部品)
- 2) バッテリーの○端子を外す
- 3) 接続を確認する (☞ 接続のしかた) (☞ システム接続例)
- 4) GPSアンテナを取り付ける (☞ GPSアンテナの取り付けおよびフィルムアンテナ貼り付け上のご注意) (☞ GPSアンテナの取り付け) (☞ GPSアンテナの取り付けおよびフィルムアンテナ貼り付け上のご注意) (☞ フィルムアンテナの貼り付け)
- 5) フィルムアンテナを貼り付ける (☞ GPSアンテナの取り付け) (☞ フィルムアンテナの貼り付け)
- 6) コードを配線する (☞ GPSアンテナの取り付け) (☞ フィルムアンテナの貼り付け)
- 7) ハンズフリーマイクを貼り付ける (☞ ハンズフリーマイクの貼り付け (例))
- 8) メインユニットを取り付ける (☞ メインユニットの取り付け)
- 9) バッテリーの○端子を元に戻す (☞ 取り付け後の設定 / 作動確認)
- 10) 設定および作動確認をする

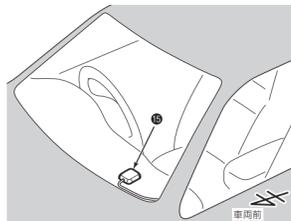
GPSアンテナ・フィルムアンテナ取付概要図

- コードは、車両部品や可動部にかみ込んだり断線したりしないように配線してください。
- 運転席側のコードは、運転操作の邪魔にならないように配線してください。
- ビラ配線時、内装トリムを取り外します (右側も同様)。取り外し作業が困難な場合は、車両のお買い上げ店や最寄りのディーラーにお問い合わせください (作業工賃は、お客様にご負担いただく場合があります)。



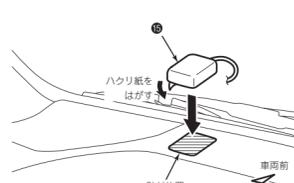
GPSアンテナの取り付け

I ⑮ GPSアンテナの貼付位置を決める



- ① GPSアンテナがしっかりと固定できる場所を選び、貼付位置を決める。
- アドバイス**
- GPSアンテナは、電波の通れにくい、平らな場所に貼り付けてください。推奨する貼付位置はダッシュボードの左側です。

2 ⑬ GPSアンテナを貼り付ける



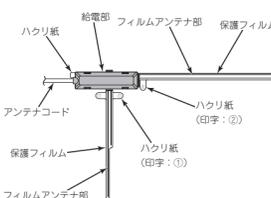
- ① GPSアンテナのハクリ紙をはがす。
 - ② ダッシュボードにGPSアンテナを貼り付ける。
- アドバイス**
- GPSアンテナを貼り付ける際、貼付位置面の汚れ、水分、油分を十分ふき取ってください。

● フィルムアンテナの貼り付け

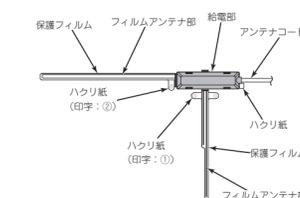
- フィルムアンテナ部を折り曲げないように取り扱いには十分注意してください。
- フィルムアンテナ部を強く曲げる、強く引っ張る、ハクリ紙を急にはがす等しないでください。断線の原因となります。
- 必要であれば仮止めをおこなって作業をしてください。貼り直しはできません。
- 粘着面は触らないでください。粘着力低下を引き起こすだけでなく、断線の原因となります。

フィルムアンテナ各部の名称

■ ⑬ フィルムアンテナ (左側用)



■ ⑭ フィルムアンテナ (右側用)



● 安全に正しくお使いいただくために

お客様や他人への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

警告

この表示を無視して、誤った取振をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して、誤った取振をすると、人が重傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみ発生が想定される内容を示しています。

警告

① 本機はDC12V(アース専用)専用です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

② 取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス○端子を外してください。

③ プラスとマイナス間のショートによる感電やケガの原因となります。

④ 本機を次のような場所には取り付けしないでください。本機と、前方視界を妨げる部品や、ステアリング、クラッチペダル、ブレーキペダル等の運転操作を妨げる場所等確実に支障をきたす場所。同乗者に危険を及ぼす場所等には絶対に取り付けしないでください。交通規制やケガの原因となります。

⑤ 車体に穴をあけて取り付けする場合は、注意して作業を行ってください。車体に穴をあけて取り付けする場合は、パイプ類、タンク、電気配線等の位置を確認の上、これらと干渉を避けることがいかなる注として行ってください。火災の原因となります。

⑥ ドリル等で穴あけ作業をする場合は、コーゲル等の目を保護するものを使用してください。

⑦ 破片や屑がこぼり落ちてケガや失明の原因となります。

⑧ 車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースをする場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンク等の保安用品のボルト、ナットは絶対に使用しないでください。保安用品が破損すると、制動不能や発火、車破の原因となります。

⑨ 本機を分解したり、改造しないでください。事故、火災の原因となります。

⑩ ヒューズを交換するときは、必ず規定容量 (アンペア値) のヒューズを使用してください。

⑪ 規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。

⑫ 異常な音が出ない、音がしない等の故障は修理しないでください。そのまま使用する場合は、火災、感電の原因となります。

⑬ 万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いが出る等の異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店にご相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

⑭ エアバッグの動作を妨げる場所には、絶対に本機の取り付けと配線をしてください。

⑮ 車両メーカーによる作業上の注意事項を確認してから作業を行ってください。エアバッグ動作を妨げる場所に取り付けと配線すると誤作動を起こしたり、エアバッグの爆発、エアバッグシステムが正常に動作しないため、ケガの原因となります。

⑯ 電源コードの検査を切つて、他の機器の電源を取るとは絶対に止めないでください。

⑰ 電源コードの絶縁層を剥がし、火災、感電の原因となります。

⑱ 接続したコードや使用しないコードの先端等、被覆がない部分は絶縁性テープ等で絶縁してください。

⑲ ショートにより火災、感電の原因となります。

⑳ コード類は、運転操作の妨げにならないよう、テープ等でまとめておいてください。

㉑ ステアリングやフロントレバー、ブレーキペダル等に巻きつくと事故の原因となります。

㉒ 必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できず外れることがあり危険です。

警告

① 車体のなごり部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ等にならないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となる場合があります。

② 本書で指定された通りに接続してください。正誤の断線を行わないで、火災や感電の原因となる場合があります。

注意

① 本機の取り付け、配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車両に重大な故障をきたす場合があります。

② 雨が吹き込むところ等の水のかかるところや湿気、埃、油煙の多いところへの取り付けは避けてください。

③ 本機に水や湿気、埃、油煙が入りますと、発煙や発火、故障の原因となる場合があります。

④ しっかりと固定できないところや振動の多いところへの取り付けは避けてください。

⑤ 本機が取り付けられる部位は、交通規制やケガの原因となる場合があります。

⑥ しっかりと固定できないところや振動の多いところへの取り付けは避けてください。

⑦ 直射日光やヒーターの熱風が直接当たる場所へ取り付けしないでください。

⑧ 金属製の部品が熱風を発生する可能性があります。また、本機の内部温度が上昇し、火災や故障の原因となる場合があります。

⑨ 本機の通風孔や放熱板をふさぎしないでください。

⑩ コード類は、高温部を避けて行ってください。

⑪ コード類が車体の金属部に接触する場合は、コードシース、保護管、感電の原因となる場合があります。

⑫ コード類は、必ずヒューズが付いている場合があるため、保護回路が働かず、火災の原因となる場合があります。

⑬ 電源用リード線をバッテリーに直接接続しないでください。電源を動作させるための電圧降下が発生し、バッテリーから発熱、電源を取る必要がある場合はバッテリー専用の配線キットを使用してください。

⑭ コード等の車内への引き込みは、十分注意してください。用いる車内の部品を破損する恐れがあります。また、コード類は十分気を付けて作業を行ってください。車内に浸水すると、火災や感電の原因となります。

⑮ 本機を車載用として以外には使用しないでください。感電やケガの原因となる場合があります。

⑯ 本機の取付場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。

⑰ 取付し、取り付けには専門技術が必要です。

⑱ 盗難防止システムなどの保安装置を装備した車両に取り付ける場合は、車両メーカー、カーディーラーに注意事項を確認してから作業をおこなってください。不用意にバッテリーを外すと、保安装置が誤作動したり、動作しなくなったりする恐れがあります。

● GPSアンテナの取り付けおよびフィルムアンテナ貼り付け上のご注意

GPSアンテナおよびフィルムアンテナの取り付け上のご注意を表記しています。必ずよく読んでから作業をおこなってください。

注意

- GPSアンテナは車室内専用です。法規制に抵触するため車室外への取り付けはしないでください。
- GPSアンテナを取り外す場合、アンテナ本体を持って取り外してください。コードを持って引っ張ると断線等により故障の原因となる場合があります。
- GPSアンテナに付いている磁石は大変強力です。守ては以下の点に注意してください。
 - ※時計や磁気カード等に近付けないでください。時計や磁気カードが故障したり使用できなくなる恐れがあります。
- フィルムアンテナは、一度貼り付けると貼り直してできません。貼付位置を確認して慎重に作業を行ってください。
- 本書の指示通りに作業されない場合、保安基準適合品として認められないことがあります。必ず指示通りに行ってください。
- フィルムアンテナは、繊細な構造になっております。折り曲げたり、傷をつけないよう慎重に取り扱ってください。
- フィルムアンテナをアルコール、ベンジン、シンナー、ガソリン等の揮発性液体を使用して拭かないでください。
- 車両に装着されているカメラ、センサー類の検知範囲内にはフィルムアンテナを貼ることはできません。詳しくはマニュアル等をご確認ください。
- カウチンドフィルムのなかからフィルムアンテナを貼った場合、フィルムアンテナをはがす際にカウチンドフィルムを傷める恐れがあります。

アドバイス

- GPSアンテナを塗装しないでください。アンテナの受信感度が落ちる恐れがあります。
- GPSアンテナコードは、ラジオアンテナやラジオアンテナコードから、できるだけ離して取り付けてください。GPSアンテナコードがラジオ放送の音声を妨害する恐れがあります。
- GPSアンテナおよびフィルムアンテナの貼付位置・貼付位置面の汚れ、水分、油分などを十分ふき取ってから取り付けてください。
- GPSアンテナおよびフィルムアンテナを貼り付ける際、気温が低い(20℃以下)ときやガラスが曇ってしまうときは、粘着力が低下します。車内ヒーターやデフロスタースイッチをONにしてフロントガラスを温めから貼り付けてください。
- 次のような場合、電波の受信性能が低下したり、電波を受信できなくなったりする恐れがあります。
 - ※ 指定位置や手法を守らずに貼り付けた場合
 - ※ フロントガラスに内蔵されているアンテナに重ねて貼り付けた場合
 - ※ 特殊なフロントガラスやフィルム (ミラータイプ、熱反射タイプや熱線吸収タイプ等) を使用している場合
 - ※ 車内または車両周辺にテレビ受信の妨げとなるような電磁波を発生する機器がある場合
 - ※ 次のような場合、テレビの映像や音声が乱れることがあります。故障ではありません。
 - ワイヤやエアコンを動作させたとき
 - 電波塔のすぐ近くや、山陰や電波塔から遠いところ等、電波状況の悪い場所にいるとき
- 左ハンドルの場合も、フィルムアンテナの貼付位置は変わりません。

注意

- 国土交通省の定める保安基準に適合させるため、給電部が黒セラライン※1または黒セラドットパターン※2から25mm以内に取りまよう貼り付けてください。

車内から見た図

- ①、② フィルムアンテナを黒セララインおよび黒セラドットパターンにかかって取り付けても問題ありませんが、黒セラドットの貼付強度は、ガラス面より低下します。清掃時は、はがれないよう注意してください。
- ③、④ フィルムアンテナは、検査標準や点検整備済ステッカーと重ならないように貼付位置を決めてください。

※1 黒セラライン: 黒色セラミックラインの略。フロントガラス端の黒い色部分。
※2 黒セラドットパターン: 黒色セラミックドットパターンの略。フロントガラス端の黒色のドット(点々)部分。

アドバイス

- 貼付位置に障害物等がないことを確認してください。
- テープはフロントガラスに貼らせないもの (ビニールテープ等) を使用してください。
- フィルムアンテナ貼付位置の汚れ、水分、油分をクリーナー等でよくふき取ってください。

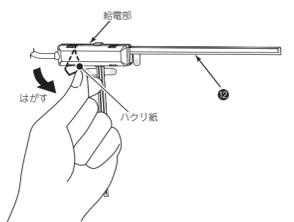
I ⑬、⑭ フィルムアンテナの貼付位置を決める

車内からフロントガラスを見た図

車外からフロントガラスを見た図

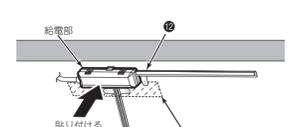
- ① 上図に従い、⑬、⑭ フィルムアンテナの貼付位置4箇所を車両外側からテープ等でマーキングする。

2 ⑯ フィルムアンテナの給電部のハクリ紙をはがす



- ① フィルムアンテナの給電部のハクリ紙をはがす。
- アドバイス**
- 図は左側を示しています。右側も同様に作業をおこなってください。

3 ⑮ フィルムアンテナの給電部をフロントガラスに貼り付ける



- ① 左図に従い、⑮ フィルムアンテナの給電部の粘着面をフロントガラスのマーキングに合わせる。
 - ② ⑮ フィルムアンテナの給電部の粘着面をしっかりと押さえ、フロントガラスに貼り付ける。
- 注意**
- 粘着力が低下するため、⑮ フィルムアンテナの給電部は貼り直さないでください。
 - 給電部を貼り付ける際、手が給電部の粘着面や、貼付位置にふれないように注意してください。
- アドバイス**
- 図は左側を示しています。右側も同様に作業をおこなってください。

